



全国の鍛え抜かれた消防士が新潟県に集結！ 第54回全国消防救助技術大会

8月22日、新潟県新潟市で第54回全国消防救助技術大会が開催されました。

この大会は全国各地の予選を勝ち抜いた消防士が一堂に会し、消防救助技術を競い合う大会で、北海道代表として八雲消防署の有櫛雄太消防士が地上7mの高さに強く展張したロープを身体のみで渡るロープ渡過（とか）部門に出場し、20mの距離を素早く確実に渡りきり、見事入賞を果たしました。

有櫛消防士は「今回の救助訓練で身につけた技術を現場活動に活かしていきたい」と語り、今後も訓練に励んでいくとのことでした。



落部地区で避難訓練が実施されました

9月2日、落部連合町内会による落部1区、2区、8区町内会をモデル地区とした地震・津波避難訓練が実施されました。当日は雨天のため、参加者は車両で落部公園に避難しました。

避難後は落部支所に移動して、町危機対策課による防災に関する講話と避難所体験が行われ、講話では日頃から避難場所を確認し、訓練を重ねることの重要性について伝えました。

避難所体験では、火を使わず温められる非常食の試食、段ボールベッドや簡易ベッドの体験、排泄物を自動で密閉処理するトイレの紹介も行われました。

参加者からは「非常食が温かく美味しかった」「簡易ベッドよりも段ボールベッドの方が利用しやすい」といった声が聞かれ、防災意識を高める機会となりました。

